

## おわりに

わたしが川越に住むようになってから、六十年にもなる。その市民となり、十年ほど経ってから始めた川越地方のサツマイモの文化史調べも五十年になる。

その長い間に、サツマイモ関係のさまざまな人との「いもづる式」の出会いがあった。

とりわけ「川越いも友の会」の事務局長、山田英次さんと、同会二代目会長のベリー・ドゥエル先生、そしてサツマイモ料理専門の料亭「いも膳」主人、神山正久さんの三人から、いつも多くのことを教えてもらっている。それなしには本書はできるはずがなかった。

また、その出版では、「さきたま出版会」の会長、星野和夫氏に大変お世話になった。同氏はわたしが長く勤めさせてもらった埼玉県立浦和高校の卒業生であり、今も同校同窓会の幹事をされている。

そのような縁から、さきたま出版会主催の文化講演会などがあるときに、よく声を掛けてもらってきた。おかげで、わたしのサツマイモ調べにも、参考にさせてもらえることが多々あった。

そのような幸運に恵まれながら世に出ることになった本書が、川越だけでなく、ほかのところの人々にも広く読んでいただけるようになることを願っている。